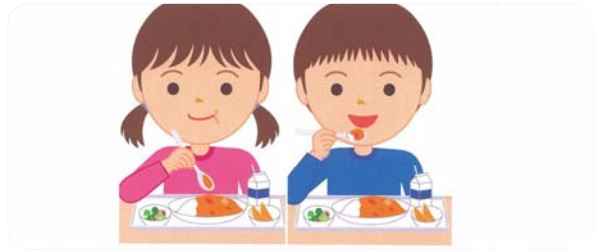


1、子供の命と健康を守ろう



滝 健一 議員



▲給食大好き！おいしいね!!

**Q** 健康を守る課題の解決と逆行するような現実の広がりがある。東松島市においては、こうした広がりを抑え、命と健康を守るための環境づくりを常に追求する施策を伺う。

**②**宮城県と県教育委員会は、川崎市での小学生ら20人に及ぶ殺傷事件で県

**Q** 子供の「命と健康」を守る課題の解決と逆行するような現実の広がりがある。東松島市においては、こうした広がりを抑え、命と健康を守るための環境づくりを常に追求する施策を伺う。

**③**中央教育審議会は1月、子供の登下校の見守りは「学校以外が担うべき業務」と提言。子供たちの安全を守るため地域の力が不可欠であり、あらゆる知恵を結集する必要がある。進め方を伺う。

**A** 市内の市町村教育委員会などに、児童生徒の通学時の安全確保の徹底を求めた。受け止め方を伺う。

**市長** ①市要保護児童対策地域協議会で会議や研修を通じ、予防策を講じる。また、市子育て世代包括支援センターを設置し切れ目のない支援を提供している。

**③**市防犯交通安全関係団体によるパトロール強化や防犯設備等の設備など地域の力を頂き、市全体での取組を進める。

**A** 教育長 ①教員が子供の些細な異変も見逃さずきめ細かな対応が必要。学校家庭、地域が連携し、全体で迅速、効果的に対応する。

**②**各学校に防犯体制等の再確認。

関係期間との連携を図り児童生徒の危険回避行動を指導強化する。

**③**住民の視点等を学校運営協議会などに集約し、学校安全ボランティアなどの見守りに繋げる。



▲子供の安全確保は、安全安心な社会の要



手代木せつ子 議員

- 1、学校給食残渣の資源化について
- 2、総合案内受付の設置について

**Q** 一、本市の平成30年度末における各小・中学校の給食残食率は、平均12.63%であることを知り驚愕した。

**①**学校により残食率に大きな違いがある理由は。

**②**学校給食の調理くずや食べ残しを堆肥化し、学校現場における「環境学習」、また地域の方々を巻き込んだ「協働教育」

**A** 一、本市の平成30年度末における各小・中学校の給食残食率は、平均12.63%であることを知り驚愕した。

**①**学校により残食率に大きな違いがある理由は。

**②**学校給食の調理くずや食べ残しを堆肥化し、学校現場における「環境学習」、また地域の方々を巻き込んだ「協働教育」

**A** 一、本市の平成30年度末における各小・中学校の給食残食率は、平均12.63%であることを知り驚愕した。

**①**学校により残食率に大きな違いがある理由は。

**②**学校給食の調理くずや食べ残しを堆肥化し、学校現場における「環境学習」、また地域の方々を巻き込んだ「協働教育」

**A** 市長 二、市民課を中心に調整を進めていて、7月1日から入口付近に設置する。また教育委員会や福祉事務所への経路表示も行う。